

「あなたとゴミでつながっている彩の国資源循環工場」

わたしが住んでいるのは、埼玉県北西部の寄居町と小川町の境に位置する、埼玉県が管理している産業廃棄物複合施設「彩の国資源循環工場」のすぐ近くです。2011年の3月11日福島原発事故によって、ここ関東圏にも広く浅く放射性物質がばらまかれました。そして自治体（一般廃棄物）の焼却炉の灰は、放射能が凝縮され、高い値となっていることを知りました。

彩の国資源循環工場には埼玉県より東京都から多く産業廃棄物を受入れているそうです。産業廃棄物については企業秘密ということでわからないのですが、一般廃棄物については情報公開請求が出来るので、セシウム濃度をさっそく調べてみました。以下は2012年のものです。

東京都調布市：主灰（焼却灰）30t：17Bq/kg→ツネイシカムテックス＜焼却灰を焼成して路盤材や人工砂などに＞

東京都昭島市：主灰（焼却灰）1000t：67 Bq/kg→ツネイシカムテックス

東京都秋川衛生：し尿汚泥（脱水）180t：40.6～55.0 Bq/kg→エコ計画＜焼却炉の熱で汚泥を堆肥化＞

東京都青梅市：し尿汚泥（脱水）300t：ND(18 Bq/kg)→よりいコンポスト＜し尿汚泥を堆肥化＞

東京都あきるの市：し尿汚泥（脱水）180t：40.6～55.0 Bq/kg→よりいコンポスト

最も高かった千葉県印西市の2900Bq/kg（80t）や1000ベクレル前後の自治体も多くあった中で、東京都からのものはだいぶ低かったです。また、年によって受入量は若干変化しますが、毎年だいたい同じくらいの量を受入れているようです。

ですので、以前、府中市の市民ネットワークや、このたび日の出の森・支える会のみなさんから注目していただいて、言い方はヘンですが、ありがたく思います。

ゴミ問題は、広域化によりパッカー車で目の前からなくなること、人々の関心が低くなっていますが、その行き先には大量のゴミが集められて焼却など処理されています。また、高温焼却でダイオキシン濃度は以前より減ってはいますが、彩の国資源循環工場の敷地内では、松葉によるダイオキシン類・重金属類の測定結果が今年もワースト1位となっています。

（彩の国資源循環工場と環境を考えるひろば／加藤晶子）